



今年度も「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進します
あったかい親子コミュニケーションを！

東濃地区の子育て・親育ちつうしん
家庭教育 なう

平成 30 年 10 月発行
恵那県事務所振興防災課
家庭教育担当：奥村
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL：0573-26-1111（内線 209）
FAX：0573-25-7129
MAIL：q02042@govt.pref.gifu.jp

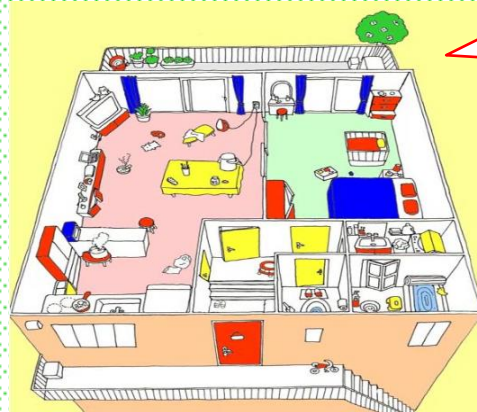
災害から命を守るために考えておきたいこと

今、災害は他人事ではありません。家族の命を守るために、家族一人一人のことを考えた防災対策を考えることが必要です。家庭教育には、身近な危険を考えるプログラムがあり、家庭教育学級で防災について学び合う活動を行うことができます。

わが家で考えておきたいこと

- ・大災害に備えたわが家の安全確認
- ・避難場所まで実際に歩いて確認
- ・ハザードマップの確認
- ・備蓄品の内容と保管場所の確認
- ・非常持ち出し品の準備と確認
- ・災害時の行動確認
- ・家族の連絡方法の確認

sumai smile 住まいづくりと暮らしを楽しむ
積水ハウスのweb マガジン



家の中でどこが危険いか考えましょう。



危険学プロジェクト「子どものための危険学」

中津川市立蛭川小学校家庭教育学級 自分の命は自分で守る～防災勉強会～

体験活動参加型
在宅取組型



日時 平成30年9月29日（土） 13：30～15：30
場所 中津川市立蛭川小学校 体育館
参加者 防災士（3名）保護者（11名）子ども（15名）職員（4名）
講師 蛭川防災士会 林 悟 氏 大橋 雅樹 氏 木野 泉 氏

体験を通して親子で防災を考える家庭教育学級

9月29日に、防災勉強会が開催されました。昨年、蛭川地区で立ち上がった蛭川防災士会の方を講師にお招きし、親子で体験を通して防災を学びました。翌日、台風24号が上陸するかもしれないという中で開催だったので、参加していた大人も子どもも、実感をもって意欲的に体験に取り組みました。

主催者の思い

近年、地震や豪雨災害など多くの災害が起こっており、いつ何時災害が起こるかわかりません。子どもも大人も自分の命を自分で守る術を身に付け、非常時に備えるために、親子防災勉強会を計画しました。

活動の流れ

- ❖ 防災紙芝居（途中で緊急地震速報を流し、シェイクアウトの訓練）
- ❖ 新聞紙スリッパ作り
- ❖ 卵の殻踏み体験（災害時の避難を想定し、裸足と新聞紙スリッパで歩く。）
- ❖ アイマスク体験（災害時に目の不自由な方の誘導方法を学ぶ。）



防災紙芝居



卵の殻踏み体験

【感想から】

- ・今日の体験を活かしていきたい。（親）
- ・目からの情報が8割と聞き、アイマスクを着けるとこんなに怖いんだと思った。（親）
- ・少し怖かったけど、いろいろやってみることができて、よかった。（子）
- ・家で活かして、災害の時、生き延びたい。（子）

【このよさを学びたい!】

- ・親子の体験が家庭での話題になり、防災意識が高まること。

瑞浪市立陶小学校家庭教育学級 クリスマスリース作り

体験活動参加型
子育てサロン型

日時 平成30年10月5日(金) 19:00~21:00
場所 瑞浪市役所 陶コミュニティーセンター
参加者 保護者(17名) 子ども(7名) 教員(4名)
講師 水野 香代子 氏(地元のお花の先生)



出来上がった
クリスマスリース

地元の講師の方とつながる家庭教育学級

会場に入ると、リースにする生花の良い香りに包まれていました。陶町在住のお花の先生、水野先生の指導で、蔓のリースに、ユーカリと白と紫のスターチスの花を差し込み、最後に松ぼっくりや木の実を付けてクリスマスリースが完成しました。リースは陶町文化祭に展示した後、家に持ち帰り、クリスマスまでに生花がドライフラワーになるそうです。

主催者の思い

20数年前から、水野先生のご指導で寄せ植え鉢やコサージュ作り等をしています。今年は、文化祭に展示できるものと考えて、リースを作りました。

活動の流れ

- ❖ 委員長の挨拶
- ❖ 講師紹介
- ❖ リースの制作
- ❖ 飲み物での交流
- ❖ 記念写真



グループで活動

【このよさを学びたい!】

- 制作したリースが、文化祭に展示され、家を飾るクリスマスリースになるというように、制作活動の目的がはっきりしていること。
- 地元の方を講師に招いた家庭教育学級が毎年続いていること。
- 飲み物が用意されていて、活動の合間に自然にサロン型の交流ができること。

恵那市立中野方こども園家庭教育学級 親子陶芸教室

体験活動参加型
子育てサロン型



日時 平成30年10月10日(水) 13:00~15:00
場所 恵那市立中野方こども園 遊戯室
参加者 保護者(13名) 子ども(13名) 職員(2名)
講師 保母 重徳 氏(笠置在住の陶芸家)

親子の会話と親同士の会話がはずむ家庭教育学級

12月に開催するお茶会で使う茶碗を、5歳児クラスの子ども達一人一人が保護者の方と一緒に作りました。陶芸家の保母先生の分かりやすく温かい指導で、2時間近い時間、誰も飽きることなく、集中して取り組み、世界に一つだけの茶碗が完成しました。

園の思い

子ども達が自分で作った世界で一つだけの茶碗でお茶会を開き、保護者にお茶を振る舞ってあげたいという思いから、4年前に陶芸教室を始めました。親子で相談し工夫して茶碗を作りながら、温かいふれあいが生まれます。

活動の流れ

- ❖ 講師の紹介と挨拶
- ❖ 茶碗の制作
 - 粘土の玉を作る。
 - ピザの形に伸ばした粘土を子ども膝に被せて茶碗の形を作る。
 - 高台と飾りを茶碗に付ける。



親子で茶碗作り

【このよさを学びたい!】

- 保母先生の指導は、誰でも必ず素敵な茶碗が完成する分かりやすい指導で、楽しく集中して取り組めたこと。
- お茶会で使い、家で使うという目的があること。
- ふれあいが生まれること。

多治見市立市之倉小学校家庭教育学級 栄養講話「野菜のパワーを勉強しよう！」

講演会型
子育てサロン型



日時 平成30年10月11日(木) 10:30~12:00
場所 多治見市立市之倉小学校
参加者 保護者(25名)
講師 森 裕子 氏(名古屋グランパス栄養アドバイザー)

食事について考え合う家庭教育学級

当日は、栄養講話・給食試食会・ぎふCAP(いじめのない安全な暮らし)講話という3本立ての家庭教育学級の中の、栄養講話に訪問しました。多治見市在住の管理栄養士であり名古屋グランパスの栄養アドバイザーの森先生が、プロジェクターを使って野菜のパワーについてお話されました。すぐに実践できる内容で、参加された保護者の方は、メモをとりながら、熱心に耳を傾けていました。

テーマ

「野菜のパワーを勉強しよう! ~元気になる野菜の食べ方~」

講話の主な内容

- ✧ 野菜を食べるといいこといっぱい
- ✧ 特に朝食の内容が大切
- ✧ 朝ごはんにおすすめの野菜の食べ方
- ✧ 野菜もおやつに



グループ机で栄養講話



【このよさを学びたい!】

- ・子どもの心と体に必要な栄養と食事の講話は、育ちざかりの小学生をもつお母さん達にとって、とても関心が高い内容であったこと。
- ・当日は、栄養講話の後、給食試食会と栄養教諭の講話、給食参観があり、食育について考える流れが工夫されていたこと。

恵那市立岩邑中学校家庭教育学級 親子クッキング

体験活動参加型
子育てサロン型



日時 平成30年10月13日(土) 9:00~12:00
場所 恵那市立岩邑中学校 調理室
参加者 保護者(8名) 生徒(6名)
講師 山本 さちよ 氏(地域郷土料理研究家)

食を学び交流が深まる家庭教育学級

岐阜県の「ぎふ野菜ファーストプロジェクト」を推進していらっしゃる山本先生のご指導で、「野菜たっぷりカレー」と「ヨーグルトゼリー」を親子で作りました。参加した6名の生徒のうち4名が男子でしたが、玉ねぎをみじん切りにする手際の良さに感心しました。煮込んでいる時間を利用して、山本先生から、「1日野菜を350g食べること」「塩分を控えること」のお話がありました。

活動の流れ

- ✧ 挨拶と講師の紹介
- ✧ ルーのグループ、野菜のグループで調理
- ✧ 野菜と塩分の講話



【このよさを学びたい!】

- ・「カレーをルーから作る」「5種類の香辛料と7種類の野菜を使う」という手間をかけた調理を通して、親子の関わりが長く続き、会話がはずんだこと。
- ・「食べる」活動は、食を学び、場が和み、交流が深まること。



親子で調理

土岐市立泉西幼稚園家庭教育学級 「手洗い教室「手洗いを通して親子で交流しよう」

講演会型
体験活動参加型
在宅取組型



日時 平成30年10月17日(水) 10:00~11:00
場所 土岐市立泉西幼稚園 遊戯室
参加者 保護者(21名)全園児(63名)
講師 永田 咲 氏(花王プロフェッショナルサービス株式会社)

体験したことが家庭での取組につながる家庭教育学級

泉西幼稚園では、役員の方が中心となって、毎年、趣向を凝らした家庭教育学級を開催しています。10月は手洗い教室を行いました。花王手洗いプロジェクトの講師の方から、「ばいきん」の話と「あわあわてあらいの歌」を教えていただき、年少さんから年長さんまで、楽しく元気に手洗いをしました。

役員のお母さんの思い

風邪が流行する前のこの時期に、親子で手洗いについて学んでもらいたいと思いました。子ども達が手洗い教室で学んだことをおうちの人に伝えることで、家庭での取組につながってほしいと思います。

活動の流れ

- ☆ プレゼンで手洗いの話
 - ・ばいきんはどこにいるの? 等
 - ・正しい手洗い「あわあわてあらいの歌」
- ☆ 手にクリームを塗ってブラックライトで見る。
- ☆ 手を洗って、汚れが取れたか見る。



手洗いの話



あわあわてあらいの歌

【このよさを学びたい!】

- ・役員の方が、積極的に家庭教育学級の内容を考え、楽しい企画をたくさん実施して、役員同士、保護者同士が、とても仲良くなれたこと。
- ・手洗いを習った子ども達が、家庭でも手洗いを広め、家族みんなに手洗いの習慣が身に付くこと。

多治見市立根本小学校家庭教育学級 「思春期を豊かに乗り越える性と生の学びを」

講演会型
子育てサロン型



日時 平成30年10月15日(月) 10:00~12:00
場所 多治見市立根本小学校
参加者 保護者(21名)
講師 渡邊 武子 氏(元中学校保健体育教師)

「いのち」の大切さを考え合う家庭教育学級

講師の渡邊先生から、思春期を迎える子どもの子育てで大切にすることについてお話をお聞きし、グループ交流の後、小泉助産師、野村助産師の補助で産道体験を行いました。体験したお母さんは、自分を振り返り涙を流されました。「いのち」を考える貴重な時間でした。

主催者の思い

自分自身を大切にすること、他の人を大切にすることを、親が学び、それを子どもに伝えていってほしいという願いから、今年初めて、いのちの教育に取り組みました。

活動の流れ

- ☆ 挨拶と講師の紹介
- ☆ 講話とグループ交流
 - ・性の誤学習に対する判断力・選択力を教えることが性教育
- ☆ 産道体験

【このよさを学びたい!】

- ・事前にアンケートを取り、質問したいことがまとめられていたことで、参加者の思いと講話がつながったこと。
- ・講話の後のグループ交流に講師の先生も助産師の方も参加し、アドバイスをしてくださったこと。



渡邊先生の講話

瑞浪市立瑞浪南中学校家庭教育学級 PTA合唱

体験活動型
子育てサロン型

日時 平成30年10月12日(金)・19日(金) 11月2日(金)・9日(金)・30日(金)
19:10~20:40

場所 瑞浪市立瑞浪南中学校 音楽室

参加者 保護者と学校職員(24名)

講師 森山 孝光 氏(愛知県の高校教師) 森山 康子 氏(ピアノ伴奏)



「子ども達のために」という思いを大切にされた家庭教育学級

音楽室から発声練習の美しい声が聞こえました。森山先生の指導で表情豊かに歌う保護者の方の、子ども達のための合唱にかける情熱を感じました。瑞浪南中学校は、稲津中学校と陶中学校が統合して平成28年4月に開校しました。2つの中学校の良さを活かした家庭教育学級が開催されています。

主催者の思い

12月1日(土)に瑞浪市総合文化センターで開催する合唱祭に、PTAも参加します。楽譜と音取りCDを配付し、練習日に参加できなくても、自分で練習ができるようにしています。

活動の流れ

- ✧ 発声練習
- ✧ パート練習
- ✧ 全体練習



全員で発声練習

【このよさを学びたい!】

- ・「子ども達の合唱を応援するために合唱祭で歌う」という目的がはっきりしていて、参加者の意欲につながっていること。
- ・保護者が参加しやすい配慮があること。

瑞浪市立釜戸幼小中家庭教育学級 かすてら教室

体験活動型
子育てサロン型



日時 平成30年10月21日(日) 10:00~12:00

場所 瑞浪市釜戸公民館 調理室

参加者 竜吟幼児園・釜戸小学校・釜戸中学校の保護者(16名)

講師 渡辺 君子 氏(元保護者)

校区全体で子育てについて考え合う家庭教育学級

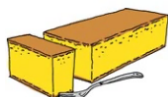
10月28日(日)に開催される釜戸町文化祭で、コーヒーと一緒に販売するカステラを作りました。5年程前から、毎年文化祭で販売しています。来年度、釜戸中学校が瑞浪北中学校として統合されるため、釜戸中学校としての参加は最後になります。

主催者の思い

釜戸町の幼児園、小学校、中学校が、合同で家庭教育学級を行っています。午前中にカステラとジャージャー麺を作って参加者で試食し、午後から、文化祭で販売するカステラをもう一度作ります。

活動の内容

- ✧ カステラとジャージャー麺を作る。
- ✧ 文化祭のバザーで販売するカステラを作る。



カステラ作り

【このよさを学びたい!】

- ・地区の幼小中が連携して合同で家庭教育学級を開催していること。
- ・地域の文化祭に参加するために、公民館と幼児園、小学校、中学校が連携し、地域と一緒に活動していること。

中津川市福岡中学校区家庭教育学級 ライフスキル「家族の役割とは」

講演会型
子育てサロン型



日時 平成30年10月17日(水) 19:00~21:00
 場所 中津川市福岡総合事務所 世代交流室
 参加者 保護者と学校職員〈田瀬小・下野小・福岡小・高山小・福岡中〉(46名)
 中津川市ライオンズクラブ会員(16名)
 講師 外川 澄子 氏(ライオンズクエスト認定講師)

校区全体で子育てについて考え合う家庭教育学級

中津川市福岡中学校区では、昨年度から5校合同で家庭教育学級を開催しています。今年度3回目の家庭教育学級は、中津川ライオンズクラブの後援でライフスキル教育を行いました。講話・エネジャイザー(元気の出るゲーム)・3人組の交流・役割演技等を通して、家族の役割について学びました。

主催者の思い

4小学校の児童が中学校で一緒に仲間になります。そのために、4小学校1中学校の保護者が仲良くなり、共に子どもを見守り育てていくことを目指しています。

講話の内容

- ❖ テーマ「家族の役割とは? “コミュニケーション” と “ほめる” を通して」
- ・家庭で子どもに育てたい能力は「自信」。問題を起こす子どもは自尊心が低い。
- ・子どもの失敗をがみがみ怒ってしまうのではなく、部分を褒める・チームで褒める・時間で褒める。
- ・「叱る」より、具体的な事実を言葉で「褒める」。



円くなって講話を聴く



エネジャイザー

【このよさを学びたい!】

- ・子どもの学びの継続を考え、校区で連携して合同家庭教育学級を開催していること。
- ・ゲームや交流の時間をとりながら講話を聴くことで、場が和やかになり、参加者同士が体験しながら、子育てについて学べること。

家庭教育プログラムから

子育てヒント!



家庭教育プログラムには、生活や子育てのお役立ち情報がたくさん紹介されています。是非活用してみましょう。

「褒める子育て」に欠かせない「お手伝い」

「みんなで子育てⅢ」

➡ 5お手伝い

検索



親が子どもを褒めるタイミングは、「お手伝いをした時」が約8割と最も多く、お手伝いが褒めるチャンスになっています。また、子どもが「お手伝い」をしてよかったと思うことは、「褒めてもらえる」が最も多い結果となっており、「褒める子育て」において、「お手伝い」は欠かせないものといえます。

お手伝いを習慣化させるための4つの秘訣

その1
やりたいお手伝いは尊重する。

その2
簡単にできることから始めて、任せる。

その3
失敗しても決して叱らない。

その4
「ありがとう」「助かった」と感謝の気持ちを伝える。

